



秋晴れの心地よい季節となりました。いかがお過ごしでしょうか。枚方市においても、「枚方宿くらわんか五六市」や「ひらかた菊花展」が開催されるなど明るいニュースも増えてきました。

今号では、9月議会の状況と決算委員会での質疑、新名神高速道路の情報をまとめました。

一人ひとりを笑顔にしたい！～ひらかた万笑！～
の視点を忘れず、今後とも取り組んでまいります。

紙面の都合で簡単なお報告となっており、より詳しいご報告は、公式ホームページなどに掲載しております。また、ご意見・ご要望は、ご遠慮なく電話やメールにてお寄せ下さい。

I. 9月定例会議会（補正予算）のご報告（9/23、10/12）

コロナ対策で真に求められる支援は？ 地に足のついた支援策を！

コロナ支援策 第8弾 主要内容(9/23)

- 販路拡大支援事業費(地域デリバリー業者支援)：個店をとりまとめ、地域密着型活動の実績を有する団体が行うデリバリー事業および加盟店を増加させる取り組みに対しての補助：約860万円
- 在宅療養者緊急対応事業費：新型コロナウイルス感染症患者のうち、自宅療養者や保健所が特定した濃厚接触者への配食サービスや衛生用品等の支援：約5,200万円

コロナ支援策 第9弾 主要内容(10/12)

- 高齢者インフルエンザ予防接種委託料：新型コロナウイルス感染症との同時流行を避けるため、高齢者（65歳以上）のインフルエンザ予防接種の自己負担分を助成する：約1.7億円

ばんしょうの質疑の視点（9/23 本会議）



真に有効な事業者への支援を！

今なぜ市民の税で、地域のデリバリーサービス業者を支援する必要があるのか？また、誰のために必要なのか？市としてすべきことは、**新しい時代に挑戦する事業者が継続的に事業できるよう育成、支援すること**であり、補助金が頼りの安価なデリバリー事業は、働く人を守れず、継続的な事業になり得ず、市民一人ひとりの笑顔に結びつかないと考えます。

市答弁 大手デリバリー業者では、個店の負担が大きいという地域経済団体からの要望等も踏まえた飲食店が利用しやすいデリバリーサービスを展開する団体への育成・支援事業であり、「枚方市コロナ対策店応援クーポン券」の利用促進にもつながるものと考えている。

II. ひらかた まちづくりトピックス

新名神高速道路(2023年度開通予定)工事に伴い、一部道路が切替われました



Ⅲ. 決算特別委員会のご報告 (9/30~10/12)

皆さまの声を市政に反映させます ~ひらかた万笑!~目指して

ばんしょう



① 総務・教育子育て分野の質疑 (9/30)

- 令和元年度普通会計決算における義務的経費について
財務状況は楽観視できない状況。
市民の将来を見据えた事業、財政運営を!
- 自治会館建設補助について
災害への備えも含め、積極的な自治会館の建設整備および修繕の促進策を!
- 不登校支援協力員について
不登校に対する社会の理解が進み、不登校になっても児童・生徒もその保護者も、笑顔で暮らせる取り組みを!
- 「子どもの笑顔を守るコール」について
SNSや現在導入中のタブレット端末の活用も含め、相談窓口の多様化を!

- 枚方市駅周辺再整備事業について
枚方市駅周辺再整備は、市民にきちんと伝え、合意形成を図った上で進めるべき!

枚方市駅周辺再整備基本計画策定等委託料が約2,000万円発生しているが、どのような委託内容で、それは枚方市駅周辺再整備のどこに、何が反映されているのか?

市答弁 委託内容は、③街区の市街地再開発事業における都市計画の各種検討や「枚方市駅周辺再整備基本計画(素案)」の作成業務など。令和元年12月に議会へ示した「枚方市駅周辺再整備基本計画の策定に向けてのさらなる検討案」に反映されている。



② 市民福祉・建設環境分野の質疑 (10/5)

- 都市計画道路 御殿山小倉線整備について
2025年の完成に向け、地域の方々の強い期待に応えた着実な取り組みを!
- 京阪本線連続立体交差事業について
用地取得進捗率は約62%(令和元年度末時点)、2024年の工事開始に向け、情報発信の強化を!
- 光善寺駅周辺市街地再開発事業について
本事業は、光善寺駅周辺地域の価値向上が目的。市として総合的に取り組みが必要!
- 保健所の感染症発生動向調査について
私たちの生命と直結している保健所を守るため、市としての組織的な取り組みと国、府への支援の働きかけを!



- 東部清掃工場でのコスト削減の取り組みについて
サunkコストにとらわれることなく、様々なコスト削減の取り組みを!

清掃工場では、東部清掃工場だけでも決算額として15億円強が示され、大きな費用が発生しているが、コスト削減の取り組みについて具体的に聞きたい。

市答弁 灰溶融炉を停止(廃止)することにより、年間で約2,100tの温室効果ガス削減および維持管理費を令和30年までに約51億円削減することを計画した。また、焼却施設ボイラー蒸気管更新工事では、材料に耐久性や工事費用等の比較検討を行った上で、耐久性に優れた材料を使用することにより、トータルコストの削減を行った。

③ 特別・企業会計の質疑 (10/12)

- 【水道事業】「水道事業経営戦略」の推進状況について
職員の専門的な技術・技能の継承をはじめ、長期的な視点での取り組みを!
- 【病院事業】市立ひらかた病院の設備投資の考え方について
病院経営は特に働く人起点で! 医療設備の導入に際しても、職員の作業軽減を常に考慮し、働く環境の改善を!



- 【下水道事業】污水管への雨水時浸入水(不明水)対策について
雨天時浸入水対策は、老朽化対策としてだけでなく、防災という観点で対策をスピードアップすべき!

不明水対策調査業務委託とはどのような内容で、雨天時浸入水について市の考える課題は?

市答弁 令和元年度は北部地域の中で雨天時浸入水量が多い区域を46haまで絞り込んだ。雨天時浸入水対策は、主に污水施設の老朽化が影響していることから、継続した対応が必要で、今後も老朽化対策を実施し、雨天時浸入水の削減に努める。

皆様のご意見・ご要望・ご提案を
お聞かせ下さい

ばんしょう

検索

公式
ホームページ

Blog

Twitter

Instagram

Facebook